



山田町が生き残るための施策が求められています

**質問** 町長は先の九月定例会で「合併問題については言い尽くした感がある。残念ながらあととは理解するか、納得するか、しないかだ」と答えたが、雲をつかむ答弁にはあ然としてしまふばかりであった。そこで次の点を問う。

山田町が生きぬくために今後、国からの地方交付税の減額、県からの補助金・負担金の削減、町税の減収などで財源はかなり厳しいと考える。五年先、十年先の歳入と歳出の推定額を町民に公表してはどうか。

**沼崎町長** 歳入歳出の推定額の町民への公表については、先行き不透明な中で、五年、十年先を推定することは、大変至難な技である。これから年末にかけて、国の予算編成の動向や地方財政計画が明らかになり、町では、これを受けて一月末までに、新年度予算を編

## 町の考えを聞く

**質問** 冬をむかえて寒くなる感が多発しがちである。保育園などを見学するとよく「お昼寝時間」に合うが、布団や毛布を敷く時ほこりが出るのか、ストロープや窓枠がほこりで汚れていることがある。

そこで、児童の健康保護のため、空気清浄機や殺菌装置および自動温湿度調整装置などが必要と考えるが、見解を問う。

**沼崎町長** 保育園の児童にとっては、昼寝時間は成

長期における貴重な時間であるが、布団を敷く時にほこりが出たり、ついたりすることが見受けられる。

このため、冬の時期は布団を敷くときは窓を開けたり、途中で換気を行い空気の清浄に努めている。

現在、空気清浄機や自動温湿度調整装置などは設置していないが、使用している暖房器具などの良好な管理に努め、園内の快適な環境の保持を図り、園児の健康を守っていきたい。

## 保育行政

### 園内の空気清浄に努めよ 快適な環境保持を図る

成していくことになる。この国の動向及び地方財政計画を基にして、本町の

財政計画を推計し、三月定例会前には、示したいと考えている。



佐藤忠暉議員

## 総務行政

### 先行き不透明で至難の技

### 10年先の歳入は大丈夫か

**質問** 家畜排せつ物法が平成十六年十一月より施行されるが、勧告や命令といった措置は、法律の施行と同じに行われるのか。

**沼崎町長** 野積みに対して、始めに適切な管理が行なわれるよう指導及び助言が行なわれる。それでもなお適正な管理が行なわれない場合、知事は勧告及び命令といった手順をとること

としており、命令に違反した場合は、五十万円以下の罰金が課せられる。管理面の基準は、定期的な点検や維持管理を適切に行う事が求められる。

**質問**

- ① 処理施設の運営に農協と個人の負担はあるか。
- ② 用地買収に莫大な金がかかるので町有地の方がよいと考える。民有地の場



吉川淑子議員

## 畜産行政

### 家畜排せつ物処理施設は候補地は豊間根地区内



畜産農家の厳しい経営を支援する施策が求められます（豊間根地区の畜産農家）

## 議員12人が一般質問

## 学校給食

### 検討委員会を立ち上げよ 食生活は家庭の役割

**質問** 平成十一年定例会で初めて学校給食について質問している。その後、本年に六名の議員も給食問題を質問しており、住民の要望が強い現状と判断する。少子化問題、子育て支援からも大事な問題だ。給食がないのは山田の伝統とか、愛情弁当などの言い訳ではもはや通用しない。理由は財源の問題と考える。ついては次の二点を問う。

- ① 給食検討委員会を立ち上げる考えはないか。
- ② 県内で給食を実施していない市町村はあるか。

**松尾教育長**

制であり、厳しい財政の中で学校や図書館の改築など重要な課題も抱えており、理解を願う。

② 山田町だけである。

**質問** 町財政が厳しいのは理解する。どこの市町村も財政が厳しい中で実施している。PFI方式を導入して行う方法もある。第八次総合発展計画に上げ、方向付けするよう要望する。

**沼崎町長** 第一義的には教育委員会が判断するもの。十六年度から第八次総合発展計画が始まるが、町民多数の意見を積み上げていく中で、どのような論議の展開になるかを見たい。

合だとのくらいか。

③ 畜産経営は厳しい。健全経営になるよう指導、支援が必要ではないか。

**佐藤農林課長**

① 農協、個人負担についてはまだ検討中である。

② 候補地は豊間根地区内の町有地か民有地である。用地は二万平方メートル以内で提示。用地費は総額二千万円の中で考えている。

③ 厳しいがこれからの支援について努力していく。